

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者： （1組： 小出 ）

使用教科書： （ 高校情報 I Python（実教出版） ）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術の技能を身に付ける。情報社会と人の関りについての法規とマナーについて学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 法規や制度及びマナーを守り、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人の関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会 【知識及び技能】 情報社会における様々な約束事・定義づけを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会における様々な問題に対し、適切な判断・対応を考えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の一員として会得した知識を問題解決・情報社会の健全な発展にむける。	情報と情報社会 問題解決の考え方 法規による安全対策 個人情報とその扱い 知的財産権の概要と産業財産権 著作権	【知識・技能】 情報社会における様々な約束事・定義づけを学び、表現し他人に説明できる。 【思考・判断・表現】 情報社会における様々な問題に対し、適切な判断・対応を考え、行動できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の一員として会得した知識を使い、問題解決に向け発意できる。	○	○	○	13
	情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーションとメディアについての知識 Webページ作成ソフトの利用法 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを意識して、Web上での印象の変化を考慮し発信するという考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のやりたいことを発信することではなく、他者にわかりやすい情報発信を意識できる。	コミュニケーションとメディア 情報デザインと表現の工夫 プレゼンテーション Webページと情報デザイン	【知識・技能】 Webページ作成ソフトの仕様を理解して活用することができる。 【思考・判断・表現】 情報発信をする際に、Web上での印象の与え方・影響を考慮して作成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の表現したいことを考えて構成するとともに、他者にわかりやすく伝えることを心掛けているか。	○	○	○	13
2 学 期	デジタル 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みを理解し、データの処理がどのように行われているかを理解する。 コンピュータを効率よく利用するための方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報の特性とその情報表示の方法を考え、利用する。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータ上での音や画像の表現が他者に与える影響を考慮した表現に取り組む。	デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現 コンピュータの構成と動作・性能 データの圧縮と効率化	【知識・技能】 コンピュータの基本構成を理解している。 コンピュータ上での情報処理がどのように行われているかを知り、コンピュータの性能を十分に活用できる。 【思考・判断・表現】 コンピュータ上での情報処理がどのように行われているかを知り、音や画像の表現に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータ上での音や画像の表現の特性を自己の表現に活かすことができているか。	○	○	○	14

